

従来のメガソーラーの問題点とソーラーシェアリング

川崎市東電浮島のメガソーラ 建設約1年後の姿
完成2011年7月 完成

2012/9/29 撮影

8月7日
長島 彬
CHO技術研究所



呼び出力は 7,000 kW
敷地は 11 ha
110,000 m²
単位出力 63.6 W/m²

もどる <http://www.d3.dion.ne.jp/~higashi9/sola1.htm>

ソーラーシェアリングでも48W/m²

- ① 除草剤を撒くのも困難、撒いて枯らしても、今度は自然発火や放火の危険にさらされ、まさに打つ手無し
- ② もともと東電は太陽光発電は使い物にならないことを実証するために作ったとさえ言われている。
- ③ 大型パネルにかかる風荷重は大きく堅固な基礎と架台が必要。
架台や基礎関係費用に10~20万円/kWかかれば永遠に設置費用は20万円/kW以下にならない

川崎市東電浮島のメガソーラ 建設約2年後の姿



2年目には
さらに荒廃は進み雑草がパネルの隙間を突き抜け繁茂した。

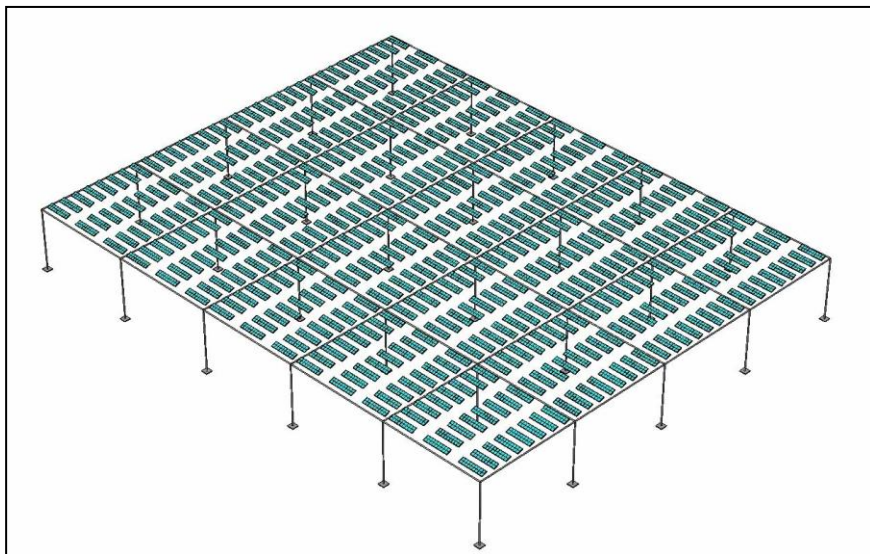
敷き詰めたパネルの小さな隙間を
突き抜ける雑草の猛威



ソーラーシェアリングに対する農水省からの指針が出て公認された現在

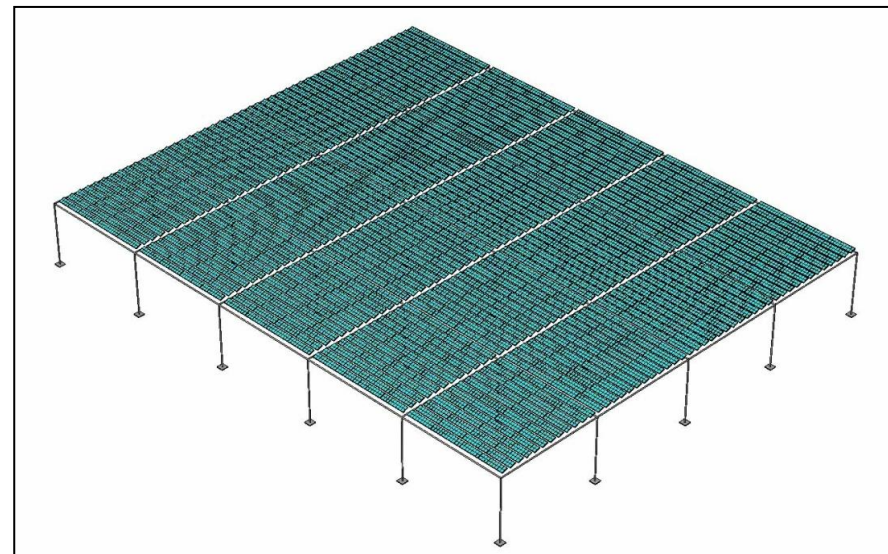
<http://www.maff.go.jp/i/press/nousin/noukei/pdf/130401-01.pdf>

早急にメガソーラーとソーラーシェアリングを統合し小型パネル化を指向しなければならない。



ソーラーシェアリングで48W/m²

- ・ 耕作を継続的に行うので雑草の繁殖は抑えられる
- ・ 小さな面積のパネルは風荷重が面積に比例して小さいので簡易な架台を指向できる。



メガソーラーで96W/m²

- ・ 草刈りの空間が確保されているので管理容易
- ・ 駐車場のうえなどにも設置できる
- ・ 小さな面積のパネルは風荷重が面積に比例して小さいのでソーラーシェアリング同様簡易な架台を指向できる。

一日も早く統一することが生産コスト低減からも期待される。

もどる <http://www.d3.dion.ne.jp/~higashi9/sola1.htm>